

《ワンポイント・レクチャー》 — 心不全とサイトカイン —

サイトカインとは、細胞(サイト)と作動因子(カイン)からなる造語で、細胞間相互作用に関与する生理活性物質の総称です。種々の組織で産生され、主に産生局所で作用し、細胞の増殖・分化・機能発現を促すものです。サイトカインの中には、インターロイキン、ケモカイン、インターフェロン、腫瘍壊死因子(TNF)、コロニー刺激因子、種々の成長増殖因子が含まれます。これらのサイトカインは、生体防御や組織修復過程において重要な役割を担っているだけでなく、心不全の発症と進展にも深く関与していることが明らかになってきました。

重症心不全患者では、TNF- α やIL-6などの炎症性サイトカインの血中濃度が上昇しています。これらのサイトカインは、血中だけでなく、不全心においても産生が亢進しています。TNF- α は、心収縮力を低下させるだけでなく、心筋の肥大と線維化、さらにアポトーシスを誘導することが知られています。そこで、心筋特異的にTNF- α を過剰発現させたトランスジェニックマウスを作成したところ、拡張型心筋症様の病態を呈し、心不全を発症することが観察されました。サイトカインが心筋障害をもたらす機序を明らかにすることで、新たな心不全治療戦略の展開を期待したいと思います。

(九州大学循環器内科・助手 久保田 徹)

第1回日本NO学会学術集会・市民公開講座のご案内

当科の竹下彰教授が、下記の要項で、第1回日本NO学会学術集会・市民公開講座を開催されますので、ご案内申し上げます。
一酸化窒素(NO)は、1998年のノーベル医学生理学賞の対象になって広く知られるようになりましたが、私達の健康や疾病と深く関係していることが明らかになってきました。血管内皮から産生される少量のNOは動脈硬化の発症や進展の抑制に働き、炎症細胞や心筋細胞から産生される大量のNOは細胞死や発癌、心不全の成因にも関与していることが明らかにされています。冠危険因子は血管内皮由来NOの産生や作用を低下させ、それらの是正は血管内皮機能を改善させることも知られています。また、いくつかの薬剤には、血管内皮の機能を改善させることも明らかにされています。最近の話題では、男性の勃起不全改善薬が陰茎海绵体でのNOの作用を増強することにより効果を発現することが明らかになりました。

このような背景を基に、ノーベル賞受賞者の一人である米国のDr. Ignarroにより世界NO学会が設立され、その日本支部として、日本NO学会が昨年設立されました。その第1回の学術集会の会長に竹下教授が選出され、この度の学術集会開催となりました。

学術集会は、26日(土)終日と27日(日)午前中の計1日半開催され、3つのシンポジウムと計139題の一般演題が発表されます。海外からも8名の研究者を招待しております。また、27日の午後4~6時には、作家の高樹のぶ子氏を迎えて、中高年の健康を考える市民公開講座も開催いたします。

多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

(文責 下川宏明)

第1回日本NO学会学術集会

日時:5月26(土)~27日(日)
会場:福岡アクロス(国際会議場、大会議室、その他)
ホームページ: <http://www.congre.jp/nosj/>

同上・市民公開講座・「中高年／からだところ」

(無料・要事前参加登録)
日時:5月27日(日)午後4~6時
会場:福岡アクロス(国際会議場)
ゲスト:高樹のぶ子氏(作家)
問い合わせ先:(株)コングレ 電話:092-716-7116
FAX:092-716-7143



Dr. Mayu Inoue

《第20期循環器内科学・生涯講座のご案内》

第19期の循環器内科学生涯講座が終了したのがつい先日のことでしたが、桜の季節が過ぎ、新年度の循環器内科学生涯講座の開講が間際にせまってきました。本講座も参加される先生方にさえられて第20期を迎える事となりました。21世紀最初の循環器内科学生涯講座ですので、今期は今までなかった新しい切り口も加えて以下のようなプログラムを予定しております。循環器領域については、日常の診療に直結する話題から、ゲノム、遺伝子治療および細胞移植といった最新の話まで幅広くカバーしたいと考えております。また、今期の新しい試みとして循環器領域以外で、呼吸器疾患(第4回)、糖尿病(第5回)および救急救命処置(第7回)について取り上げてみました。さらに、先生方からの要望が多かった心電図、心エコーおよびEBM(Evidenced Based Medicine・大規模臨床試験)について、ワンポイントレクチャーの形で取り上げる予定です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

(生涯講座担当 小池 城司)

場所: 九州大学医学部附属病院4階・臨床大講堂
時間: 19:00-19:30 ワンポイントレクチャー
19:30-20:30 メインテーマ
受講料: 25,000円
問い合わせ先: 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州大学医学部循環器内科
生涯講座担当 小池城司、本松加奈子
電話(092)642-5360、FAX(092)642-5374

【病棟だより】

4月1日より、筒井裕之が病棟医長を担当することになりました。

今まで同様、(1)24時間体制での救急患者の受け入れ、(2)患者さんに最も適した診断・治療法の選択と実施、(3)患者さんの立場になって考え、さらに紹介していただいた先生との連携を密にした診療を日々やっていく所存です。特に、救急患者の受け入れについては、以前はベッドがないためにご紹介いただけないという事態がありました。しかしながら、救急医療は九大病院全体が重要な課題として取り組んでおり、特に循環器内科は24時間体制で救急患者を受け入れることが可能です。

また、先生方からご紹介いただいた大切な患者さんの入院後の経過は、入院時・退院時はもちろんのこと、随時主治医が先生方に報告させていただくようにいたしております。もし、何か不十分な点や問題等ございましたら、ご遠慮なく病棟医長まで直接ご連絡下さい。

今後とも、何卒よろしく願い申し上げます。

病棟医長 筒井 裕之

九州大学医学部附属病院循環器内科

新患受付:
月曜日から木曜日の毎日
午前8:30から午前11:00まで。
予約不要。

不明の点は外来までお問い合わせ下さい。

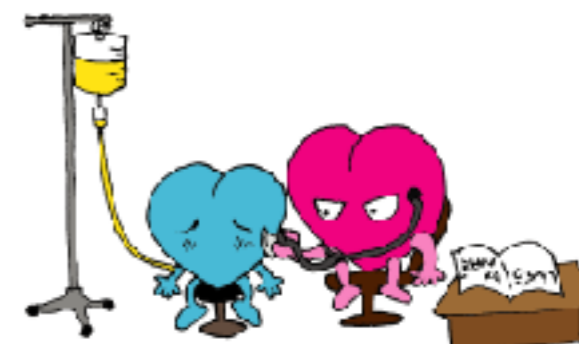
電話: 092-642-5371 (外来直通)

急患受付:
24時間対応いたします。

病棟医長または当直医までご相談ください。

電話: 092-642-5368 (病棟直通)

FAX: 092-642-5373 (病棟直通)



Dr. Mayu Inoue

《おわりに》

桜の花と一緒にお届けする予定でしたが少し遅くなってしまいました。次号は7月初旬に発行予定です。ご意見、ご要望、ご質問をお待ちしています。

(広報誌編集担当 久保田 徹)
beat@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp